

# つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和6年度）2024

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	5	5	日	8:30	12:00	五味ヶ谷市民の森	21名
活動名称	家族で楽しむタケノコ掘り体験会 その2					報告者：吉井 優	

## 1、活動目的

竹林整備の一環として、タケノコの駆除活動（適正本数管理）を行っている。これをイベントに変えたのが「家族で楽しむタケノコ掘り体験会」です。昨年に続き、4月と5月に1回ずつ開催し、不要なタケノコをできるかぎり、駆除できるよう企画した。また、日常めったにできない自然体験として、掘ったタケノコをそのまま焚火で焼く大名焼きを実施し、竹林の面白さをアピールできた。

## 2、活動内容ほか

今年は豊作の年で、タケノコが大量に発生しています。昨年から盗掘に悩まされていましたが、20日に初めて盗掘者が現行犯でつかまりました。その後もわずかに盗掘の跡が見受けられますが、引き続き警察が見回りしてくれていますので、過去にみられたような販売目的の大量盗掘は、なくなると期待しています。

4月には、1家族2本掘り、1本持ち帰る運用とし、スタッフも自由に掘れるほどタケノコが出ていた。5月5日は、4月末からタケノコ発生勢いが低下しているのに加え、前日に数十本盗難の被害にあい、4月のタケノコ掘り体験会に比べて、採掘可能な本数が激減した。参加者は、一家族1本を掘り持ち帰るといった運用となった。掘る数は減ったが、それだけ1本を丁寧に扱い、赤いつぶつぶが出る所まで、掘ることができたようだ。

前日か当日芽が出たばかりと思われるタケノコだけ厳選し、印をつけたタケノコをスタッフが掘り、すぐに焚火で大名焼きにして、美味しくいただいた。

## 3、評価：

今年は豊作の年で、瀧嶋さんに助けを乞うことなく、市民の森だけで余裕をもって楽しくイベントを開催できた。5月の参加者は、36組、子ども58人、大人58人と盛況だった。掘りたてのタケノコを素早く焼いて食べる大名焼きも、初めての体験に、興味津々で満足していたようです。

## 4、課題

今年は豊作の年であり、たけのこ掘り体験も盛大に開催でき、多くの太い若竹を残すことができ、竹林の景観を良くすることに貢献できた。来年は、不作の年となり、昨年同様タケノコ不足になやまされることになりそうだ。体験会を1回にして、何とか参加者分を確保することを検討する。また昨年は、体験会と度重なる盗掘で、若竹をほとんど残すことができなかった。今年、絶対守りたいタケノコに3脚をたて、盗掘禁止のアピールをしたところ、対象のタケノコは全て無事だった。来年は、4月早々からこの対策を施すようにする。

<里山参加会員>

風祭、柏木、牛島、柳川、上見、石川、小嶋、小沼、村上、金、和田なな、佐野英  
阿部、小澤弘、吉井、杉山、吉富、和田るみ子、田中  
写真に無い方 松井、伊佐山

<活動写真>

